

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日：2021 年 1 月 8 日
事業所名：夢門塾 淵野辺

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	1	2	3	狭いため、身体を動かすような療育のスペースが限られる。静かに過ごせる場所の区切りがない。
	②	職員の配置は適切である	4	1	1	児発管不在期間が長く、他の職員に負担がかかった。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	1		おもちゃや机や椅子などの消毒は毎日出来ているが、外などは出来ていない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6			終礼で振り返りをし、業務改善に努めているが、定時を越えてしまう時もある。振り返りに参加は出来ても、話し合いが深まっていない。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5	1		保護者アンケートをはじめ、日々の送迎でも意見を頂き、改善に努めている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	1	3	2	
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	3		3	会議も研修の機会が少ない。利用者の特性などの話し合いも少ない。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	3	2	1	児発管が何度か代わってしまい、引継ぎが出来ていないように思う。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	1		毎月1度、次月の活動の内容を決め、また別の機会にどのように進めていくか会議をすることが出来ている。アイデアもそれぞれ出し合っている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6			過去のものも参考に、リニューアルしたり、新しいアイデアを出し合い、企画・運営をすることができる。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	2	1	休日や長期休みはお出かけ支援など取り入れているものの、細やかに設定出来ているかは不明。また人員不足も相まって細やかな支援が出来なかった。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5		1	運動・工作・集中など1ヶ月の間で目的によって内容が固まらないように考えることが出来ている。スタッフ間で共有出来ていないと、子どもにとって出来ない事とってしまっている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			日直スタッフが毎日1日の流れの資料を作り、朝礼や昼礼にて共有し、役割を確認できている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			終礼で振り返りをし、個別記録などに記入出来ている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	2	3	1	児発管が何度か変わってしまっていて、しっかりと出来ていない時もある。また、時間がないため正規職員のみの場合も多い。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	2	4		定期的に読み合わせをする必要がある。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有（年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行えている	6			送迎時に学校の先生と情報共有することが出来ている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	3		疑問に思ったことはこちらから聞く場合もある。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	4	1	まだ、そのような事例に立ち会ったことがない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	1	研修などがなく、連携を取れるタイミングがない。ただ、児童について分からないことがあれば聞くこともある。コロナ禍ということもあり、連絡や面談がしづらい状況である。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6			送迎時や連絡帳などを通して、情報共有をしている。日々の成長や出来たことを共有している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4	2		
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	4		助言出来ているかは分からないが、保護者への共感や傾聴を行っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	3		問題発生したらスタッフに共有することが出来ている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			ゆめだよりを毎月発行している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6			
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		視覚的ツールやシンプルな言葉がけを意識出来ている。みんなが同じ考えで動いていないこともあるので、子どもが混乱することもある。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	1	4	コロナ対策のため困難であったが、もともと交流がないように感じる。
非常時などの対応	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5		1	避難訓練を行っているものの、回数が少ないため、新しく入ってきたスタッフや子どもに対応できていない。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4		2	危機感が少ない。回数も全然足りない。
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	1	アンガーマネジメント研修を受けることが出来た。
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	1		個別支援計画に記載済。
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	3	2	1	投薬する児童がいない。
	㉟	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	1	1	ヒヤリハットがあった場合は資料を作成の上、ファイリングしている。